

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 令和2年3月4日

都市名・国 加古川市（兵庫県）

取組の名称	「加古川市平和祈念式」の開催報告
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ( )
テーマ・目的	市民の平和意識の高揚を図る
対象者 (年齢・学年、人数等)	誰でも参加可能
実施場所	加古川市民会館中ホール
実施期間	令和元年10月5日(土)～令和元年10月5日(土) 1日間 ※年1回開催(開催日程については変動)
<p>取組の概要</p> <p>過去の戦争の惨禍に心を向け、平和の尊さを次世代に継承していくため、遺族をはじめ、市民多数の参加のもとに「加古川市平和祈念式」を開催しています。</p> <p>この式典の開催に合わせ、市内各施設で平和の象徴である「折り鶴」を募集したところ254,205羽の折り鶴が集まりました。皆様から寄せられた折り鶴は、広島の子の像や長崎原爆資料館に贈りました。</p> <p><b>【プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黙とう</li> <li>・式辞</li> <li>・来賓あいさつ</li> <li>・追悼のことば</li> <li>・平和作文コンクール表彰式 最優秀作品(小学校1点、中学校1点)と、優秀作品(小学校4点、中学校4点)を選出し、最優秀作品に選ばれた者は、式典当日に壇上で作品を朗読してもらいました。</li> <li>・平和コンサート 小学生による合唱コンサート</li> <li>・献花 等</li> </ul> <p><b>【平和を考える資料展】</b></p> <p>式典会場前のスペースでは、様々な戦争資料を展示しました</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加古川飛行場パネル</li> <li>・平和学習作品展示 次世代を担う子どもたちが、戦争や平和について、学校での授業や修学旅行先での体験を通して、感じたこと、学習してきたことをまとめました。</li> <li>・広島・長崎原爆被爆写真パネル</li> <li>・広島平和の親子バスツアー感想文集</li> <li>・サダコと折り鶴ポスター</li> </ul>	

【かこがわ平和探検マップの配布】

多くの市民の方に市内にある戦争史跡について知っていただき、平和の尊さを考えてもらう機会とし、次世代に平和への願いを継承していくことを目的に平成30年度に作成し、平成31年4月より市内各施設で配布しています。  
式典会場では希望者に配布しました。

参加者の反応

参加者からのアンケート内容抜粋

- ・今後も継続して「平和祈念式」を開催してほしい
- ・平和コンサート（小学生）が良かった。子どもたちの表情が素晴らしかった
- ・平和について考える機会になり良かった

成果

様々な世代の方に参加いただき、多くの方が平和について考える機会となりました。

課題

全国的に、戦争体験や被爆体験者の高齢化が進むなか、平和の尊さをいかに次世代に継承していくかが大きな課題です。

取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）

- ・かこがわ平和探検マップ（内容については「取組の概要」のとおり）

上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）

掲載可能（素材を添付してください）    掲載不可    不明

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。

## 加古川市平和祈念式

### 【式典】

#### 『舞台上のメッセージパネル』

メッセージパネルの虹の部分は「折り鶴」を使用しています。この折り鶴は、市内各施設で募集し、あらゆる世代の方が平和への想いを込めて折ってくださりました。



### 【資料展】

#### 『サダコと折り鶴ポスター』

原爆の被害と平和の大切さを伝えるポスターを広島平和記念資料館からお借りし、式典会場前で展示しました。



#### 『折り鶴コーナーの設置及び平和探検マップの紹介』

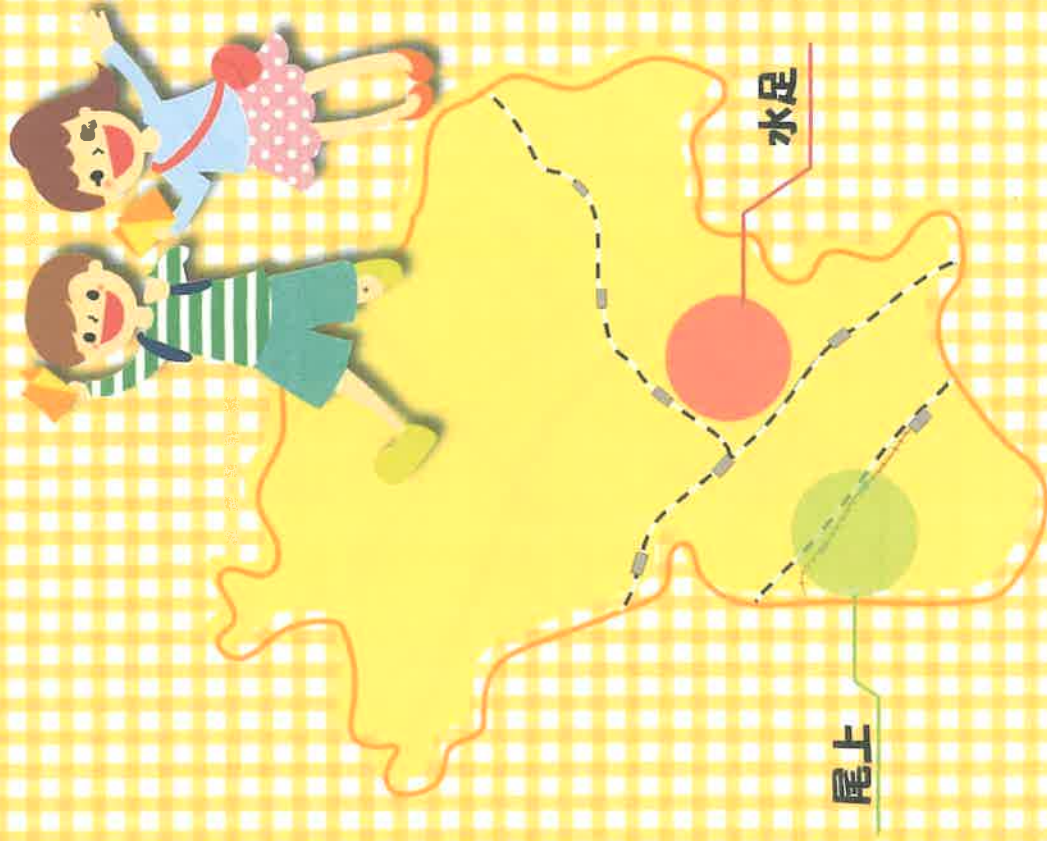
非核の象徴である折り鶴を折ることで、市民の方が気軽に平和を祈る機会となるよう、式典会場前に「折り鶴コーナー」を設けました。

また、「かがわ平和探検マップ」の展示も行い式典参加者に周知しました。





# かこがわ平和探検マップ



## 【核兵器廃絶都市宣言】

私たちは、人類が再び同じ過ちを繰り返さないよう核戦争の防止を求め、核兵器廃絶を強く訴える。地球上に、平和も愛もいのちも、また美しい山河を絶やさないために、加古川市を「核兵器廃絶都市」とすることを宣言し、他の宣言都市と相携えて世論を喚起し、核兵器廃絶を望む市民の輪が我が国に、そして世界に広がることを期するものである。

昭和57年3月29日 加古川市

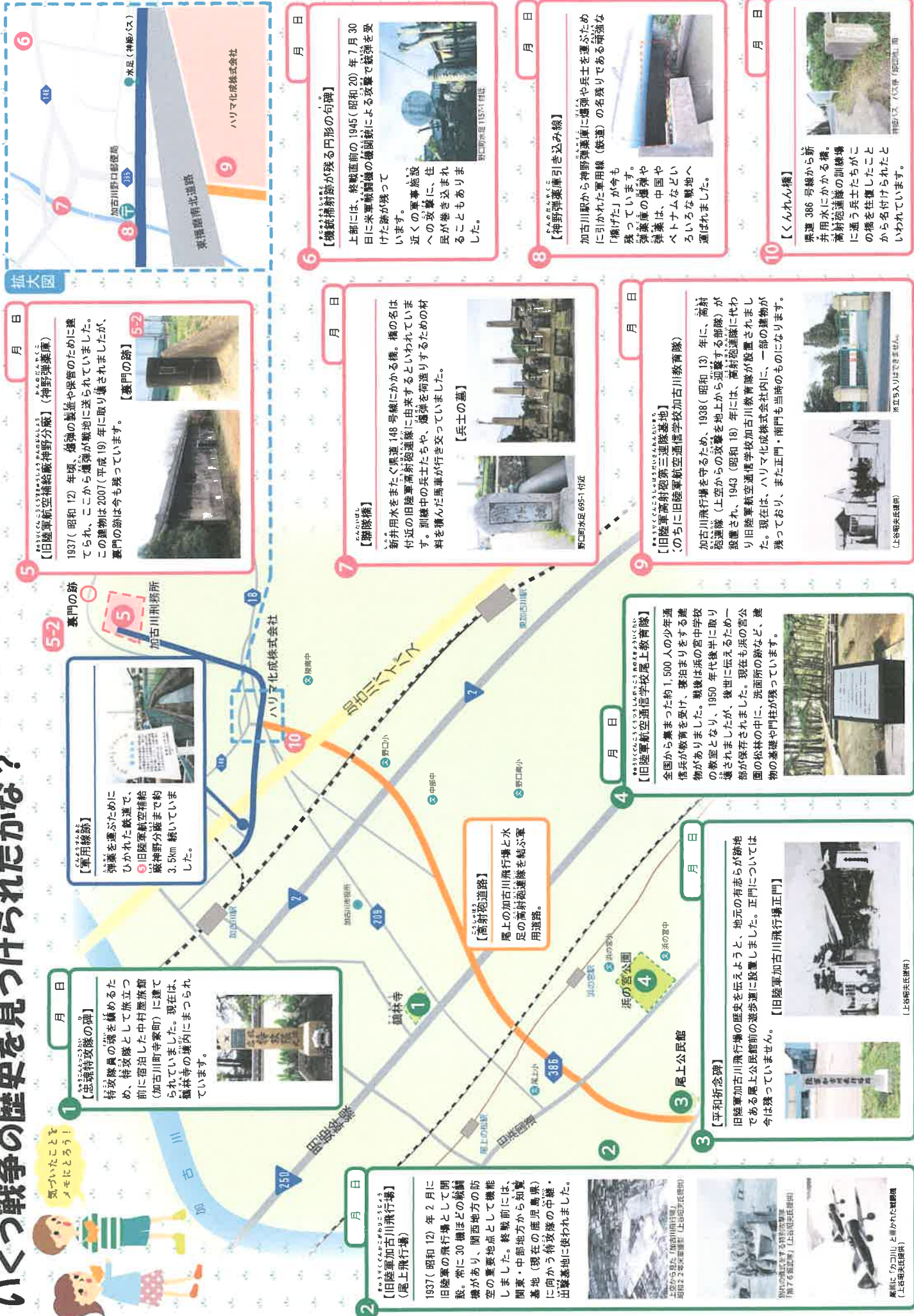
発行／加古川市総務課 平成31年1月 初版



# いくつ戦争の歴史を見つけたかな？



気づいたことを  
メモにとろう！



**1** 月 日

**【忠魂特攻隊の碑】**  
特攻隊員の魂を鎮めるため、特攻隊として旅立つ前に宿泊した中村原旅館（加古川町寺家町）に建てられています。現在は、鎮林寺の境内にまつられています。

**5-2** 月 日

**【軍用橋跡】**  
弾薬を運ぶためにひかれた鉄道で、旧陸軍航空補給廠神野分廠まで約3.5km続いています。

**【軍門の跡】**  
1937（昭和12）年頃、機銃の製造や保管のために建てられ、ここから機銃が戦地に送られていました。この建物は2007（平成19）年に取り壊されましたが、墓門の跡は今も残っています。

**5** 月 日

**【旧陸軍航空補給廠神野分廠】（神野弾薬庫）**  
1937（昭和12）年頃、機銃の製造や保管のために建てられ、ここから機銃が戦地に送られていました。この建物は2007（平成19）年に取り壊されましたが、墓門の跡は今も残っています。

**2** 月 日

**【旧陸軍加古川飛行場】（尾上飛行場）**  
1937（昭和12）年2月に旧陸軍の飛行場として開設。常に30機ほどの戦闘機があり、関西地方の防空の重要地点として機能しました。終戦前には、関東・中部地方から知覚基地（現在の鹿児島県）に向かう特攻隊の中継・出発基地に使われました。

**3** 月 日

**【平和祈念碑】**  
旧陸軍加古川飛行場の歴史を伝えようと、地元有志らが跡地である尾上公民館前に設置しました。正門については今は残っていません。

**【旧陸軍加古川飛行場正門】**

**4** 月 日

**【旧陸軍航空通信学校尾上教育隊】**  
全国から集まった約1,500人の少年通信兵が教育を受け、環泊まりをする機物がありました。戦後は兵の宮中学校の教室となりました。1950年代後半に取り壊されましたが、後世に伝えるため一部が保存されました。現在も兵の宮公園の松林の中に、洗面所の跡など、建物の基礎や門柱が残っています。

**7** 月 日

**【陣隊橋】**  
新井用水をまたぐ県道148号線にかかる橋。橋の名は付近の旧陸軍高射砲連隊に由来するとされています。訓練中の兵士たちや、機銃を荷造りするための材料を積んだ馬車が行き交っていました。

**【兵士の墓】**

**6** 月 日

**【機銃掃射跡が残る円形の向碑】**  
上欄には、終戦直前の1945（昭和20）年7月30日に米軍戦闘機の機銃掃射による攻撃で銃弾を受けた跡が残っています。近くの軍事施設、住居の攻撃に、住民が巻き込まれることもありました。

**【神野弾薬庫引き込み線】**  
加古川駅から神野弾薬庫に機銃や兵士を運ぶために引かれた軍用線（鉄道）の名残りである頑強な「橋げた」が今も残っています。神野弾薬庫の機銃や機銃は、中国やベトナムなどいろいろな戦地へ運ばれました。

**【くうれん橋】**  
県道386号線から新井用水にかかる橋。高射砲連隊の訓練場に遭った兵士たちがこの橋を往復したことから名付けられたといわれています。

## 拡大図

